

中国現地法人合肥支店の開設準備認可取得について

株式会社みずほコーポレート銀行(頭取: 佐藤康博)の中国現地法人みずほコーポレート銀行(中国)有限公司(以下、みずほ中国)が、中国銀行業監督管理委員会宛に提出していた中華人民共和国安徽省合肥市における支店開設準備申請が、このほど正式に認可されました。これを受け、2012年度下期中の支店開設を目指して具体的な準備作業を開始します。

合肥市は安徽省の省都であり、政治、経済、文化、金融およびビジネスの中心として発展し、長江デルタ核心都市の一つとして、長江デルタ経済区の内陸への産業移転を引き受ける重要な役割を担っています。日系企業のほか外資系企業が数多く進出しており、今後の発展が期待されています。

合肥支店はみずほ中国の12番目の営業拠点となる予定で、当行の2駐在員事務所(南京、厦門)も含めたくみずほ>の中国でのネットワークは14ヶ所となります。<みずほ>は、お取引先の近くで各種金融サービスを提供しながら事業展開をサポートできるよう、引き続き体制を整えてまいります。

以上

<合肥市概要>

概要	安徽省の省都であり、中国中部地区の中では東部沿海地域に最も近くに位置 (面積:11,400km ² 、人口:752万人(合肥市政府HP))。 市内には、国家級合肥経済技術開発区、合肥高新技术産業開発区、合肥市新駅総合開発試験区の3か所の国家級開発区と7か所の省級開発区がある
主要な産業	自動車、生産設備、家電製品、化学工業・タイヤ、IT・ソフトウェア、新素材、バイオ、食品・農産物加工、太陽光発電、新型フラットパネルディスプレイが10大重点産業を形成
GDP	3,636.6億元(2011年)

<当行の中国ネットワーク>

みずほ中国 本支店・出張所(11)	上海(本店)、北京、大連、深セン、無錫、天津、青島、広州、武漢、蘇州 大連経済技術開発区(出張所)
当行 駐在員事務所(2)	南京、厦門